

ふくしの森ステーションみすぎだいだより

令和8年3月号No.39

“ふくしの森ステーション”は地域の何でも相談窓口です。

- ・社会福祉協議会職員のコミュニティソーシャルワーカーが活動する地域の拠点です。
- ・地域福祉活動を支援します。・ボランティア活動に関する相談にもお応えします。
- ・日頃から悩んでいること、不安に感じていることがありましたらご連絡ください。



美杉台「ふくしを話し合う会」開催中！

美杉台のこれからを考えるための「アンケート」を実施します

美杉台地区「ふくしを話し合う会」では、『美杉台地区ふくしの森活動計画』に基づき、地域福祉の取り組みを進めています。

話し合いの中で高齢化の進展により、買い物や通院、日常生活の支援などに関するニーズが今後さらに高まることが見込まれるため、まずは地域の実状や困りごとの状況を把握することが大切であるとの意見が共有されました。また、住民同士が無理のない形で支え合う仕組みの一つとして、「有償による支え合い活動」の可能性についても検討を進めています。

そこで、今後の取り組みを検討するため、令和8年度「広報はんのう6月号」と同時配布にて、美杉台地区自治会加入世帯を対象に、困りごとに関するアンケート調査および有償の支え合い活動の協力意向調査を実施します。

美杉台のこれからを考えていくための大切な調査ですので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



『美杉台地区ふくしの森活動計画』

- ①世代や地域をこえて活動できる方法を考える
- ②誰もが参加しやすい居場所づくりをすすめる
- ③地域の情報を気軽に受け取れる、発信できる方法を考える
- ④“美杉台地区ふくしを話し合う会”で美杉台地区の地域福祉について話し合いを続けていく



「たすけあい加治」の活動を学びました

美杉台地区で、日常生活の困りごとをどのように支えていけるかを考えるため、加治地区で活動している「たすけあい加治」についてお話を伺いました。「たすけあい加治」では、車での通院や買い物の同行支援、植木の伐採や草刈りなど、地域の困りごとに応じた活動を住民主体で行っています。車での同行支援では、事前に研修を受けたサポーターが安全に活動しており、これまで一度も事故は発生していないとのことでした。

美杉台の支え合いを考えるうえで、大変参考となる学びの機会となりました。今後は、他地区の取り組みも参考にしながら、美杉台の実状に合った支え合いのあり方について検討を進めていきます。



社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 ふくしの森ステーションみすぎだいだより（美杉台地区行政センター内）

原則 火～金曜日（祝日を除く） 9：15～16：15

TEL 070-7792-2426 FAX 042-973-8941

Eメール station-misugidai@hannosyakyo.or.jp

※担当者が不在の場合、電話は飯能市社会福祉協議会事務局（総合福祉センター内）へ転送されます。



飯能市こども食堂ネットワーク が立ち上がりました！



飯能市こども食堂ネットワークとは？

- ・市内のこども食堂がつながり、情報や人材、想いを共有する取り組みです。
- ・それぞれの団体が無理なく活動を続けられるよう、横のつながりを大切にしています。

CSWは立ち上げにあたり、団体と連携しながら準備に関わってきました。



立ち上げの背景

- 情報交換をする中で、「人手が足りない」「資金面が不安」などの団体にも共通する運営の悩みが見えてきました。
 - 💡 困ったときに相談し合える
 - 💡 団体同士がゆるやかにつながる
- そんな“ネットワーク”が必要とされていました。



----- 主な取り組み -----

情報共有



交流会やLINEを活用して情報交換をします。

人材の共有



団体間で人材情報の共有や調整をします。

寄付の受入



市民や企業とつながりをつくり、寄付や協力を募ります。

学びの場



外部講師を招いて、研修会を開催します。



CSWがネットワークと連携し、立ち上げや寄付などのご相談に対応しています。

★ 現在、5つのこども食堂が加盟し、取り組みを推進しています！

★ こども食堂の立ち上げを考えている方や、活動を応援したいと感じた方は、ぜひCSWまでご相談ください。